

地球科学概論第 4 回課題

62115799

平井優我

(1) 小さい天体の場合、物質自体の強度よりもその重力が小さいことから、もともとの形状を保ち続ける。ところが、物質がある大きさを超えるとその状態に変化が起こる。物質の中心に向けてはたらく重力の大きさが、物質自体の強度を上まわるようになると、表面にあった突起や不規則な形状などが、崩れたり押しつぶされたりする。その結果、天体の表面がその中心からすべて等しい距離にある球形になる。天体が球形になるかならないかの境目は、内部を構成している物質によっても変わってくるが、おおむね直径 300 キロメートルと考えられている。

(2) 授業ありがとうございました。太陽系の惑星の詳細がわかって面白かったです。他の系の惑星についても詳しく知りたいです。